

第51回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議東京大会（オンライン開催）開催要項

——空襲・戦災記録運動50年の歴史を振り返り、次世代への継承を考える——

空襲・戦災記録する会全国連絡会議は、ベトナム戦争が激化していた1971年に呱呱の声を上げ、爾来半世紀にわたり、毎夏に全国の空襲被災地で大会を開催し、各地の団体や個人による調査・研究、展示や体験を語る会、書籍や映像・演劇作品などの市民への発信のしかたなどをめぐり、その成果や経験を語り合い、交流し合ってきました。

この運動は、空襲・戦災のみならず、学徒勤労動員や学童疎開などの戦時下の体験、あるいは日本の加害をも視野に入れ、その実相や真相を究明し、犠牲となった方々の生きていた証を残し、慰霊することで、再び戦争の惨禍を繰り返さず、平和の礎とすることを強く求めてきました。特に、犠牲者のお名前や戦時下の実相を明らかにし、記録することが、人間の尊厳の回復と平和な未来を築く礎となるのだという共通の思いがそこには息づいていました。この思いは、未来に継承すべきものと考えます。

しかしながら、戦後も75年以上が経過し、空襲記録運動の歩みも半世紀を経て、おもな担い手であった体験世代は高齢化し、やがては体験者のいない時代は避けられなくなってきました。その一方で、この30年ほどの間に、米軍資料の調査と活用が盛んとなり、また各地では戦争遺跡の調査・保存、フィールドワークでの活用も広がり、戦後世代の中から新たな調査・研究と運動の担い手も加わってきました。ただ、急速な社会環境の変化、政治の動向や文化状況の中で、空襲記録運動もまたさまざまな困難や課題に直面しています。加えて、昨年来の感染症の世界的流行は、新たな試練を私たちに与えてきました。

当会は、昨年、初めてのオンライン開催を試みました。本年も昨年とほぼ同様の開催方法となります。今大会では、まず8月27日(金)夜に「米軍資料の調査・活用に関する研究会」を開きます。28日(土)午後には、「空襲を記録・継承する取り組みのこれまでとこれから」と題したシンポジウムを開き、各世代からの取り組みをご報告いただき、世代間の交流とこれからの継承・発展の課題と可能性を語り合おうと思います。そして、29日(日)午後は、全国各地の団体・個人からのご報告をいただき、交流を深めようと考えております。ぜひ、多くの方にご参加いただきたく、このお知らせの普及と拡散にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、私たちは、本大会の準備の過程で、「最低でもオンライン開催、できることなら対面で」と最後までその可能性を探ってきました。残念ながら、今夏もオンライン開催のみとなりましたが、感染の状況が改善した暁には、別途、対面での交流会を開催しようではないかと考えております。時期については現時点ではご提案できる段階にありませんが、改めてご案内申し上げたいと思います。そして、その際には大いに語り合えることを心より願っております。

2021年6月

第51回 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議
東京大会 実行委員長 牛田守彦

主催 第51回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議・東京大会実行委員会

日程 2021年 8月27日(金) 午後7時～9時半

8月28日(土) 午後1時～4時

8月29日(日) 午後1時～4時

発表終了後にオンライン懇親会を予定しています。

※日程については、多少変更になる可能性があります。

【オンライン開催の方法】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**ビデオ会議システムZOOM**を使って、オンラインで開催いたします。参加申込をされた方は、ZOOMのアプリをインストールしていただき、パソコンやスマートフォン等からご出席をお願いすることになります。

なお、今回は大会運営経費として参加費を集めることにいたしました。ご理解下さい。

【日程の詳細】

◆ 27日（金）午後7時～9時半 米軍資料の調査・活用に関する研究会

※ 空襲通信23号をお求めの方は別途以下サイトでお申し込みください。 <http://kushusensai.net>

※ 米軍資料の調査・活用に関する研究会についての問い合わせは、以下にお願いいたします。

工藤洋三 ykudo@bronze.ocn.ne.jp

◆ 28日（土）午後1時～4時

シンポジウム「空襲を記録・継承する取り組みのこれまでとこれから」

空襲を「記録・継承する取り組み」に、長らく従事されてきた方から、新たな試みに取り組みされている方まで報告していただき、世代を超えて議論をする予定です。

登壇予定者：吉田裕さん・渡邊英徳さん・庭田杏樹さん・工藤洋三さん

※そのほかの登壇者は現在交渉中です。

最新情報は空襲・戦災を記録する会ホームページまで。 <http://kushusensai.net/>

◆ 29日（日）午後1時～4時 自由報告（応募方式）

各地から最近の活動・トピックについての報告をご応募ください。報告時間は1本15分が目安です。なお、応募状況によっては日程調整や選考をおこなう可能性もあります。ご容赦ください。

※ 報告手段は基本的に Zoom でのオンライン発表とします。それ以外の方法での報告を希望される方はご相談ください。

◆ 自由報告の申し込み方法

全国各地・個人報告の申し込みは、7月24日（土）21時までに、柳原・比江島の2人あてにメールでお送りください。報告者名・所属・論題（テーマ）をお伝えください。

柳原伸洋 yanagihara0701@gmail.com

比江島大和（東京大空襲・戦災資料センター） tokyoraidsgmail.com

メール以外の場合は、以下にお問い合わせください。

東京大空襲・戦災資料センター（比江島） TEL 03-5857-5631 FAX 03-5683-3326

参加方法——事前に登録し、振り込みをされた方に、ZOOMのURLを送ります

- 参加をご希望の方は、以下の URL の「オンライン登録フォーム」にご登録ください。

8月20日（金）を締切といたします。

<https://forms.gle/erqftxDJTyc6M1p8>



- 登録とともに、下記の振り込み方法に従い、参加費のお振り込みをお願いいたします。
- 登録と振り込みが確認できた参加者の方に、原則として開催日の3日前までに、参加用 URL・ミーティング ID・パスワードをお申込みいただいた登録メールアドレス宛てに送付します。

参加費の振り込み方法

参加費として1,000円を郵便振込願います。1,000円で3日間すべての日程に参加できます。

[代金払込先] 郵便振替口座 [口座記号番号] 00170—6—123225

[加入者名] 東京大空襲・戦災資料センター

[申込締め切り] 8月20日（金）

※ 同封の用紙を使って郵便局でお振込みください。また、振り込み手数料はご負担ください。

※ 振り込みの際に住所・氏名・電話番号、通信欄に「第51回大会参加費」とご記入ください。